



2018年9月
EIZO株式会社 代表取締役

奥整祥隆

「Imaging Chain Innovation」で 社会課題に対応する新たな価値を生み出します

新たな成長エンジンの創出へ

2018年5月に2018年度を初年度とする第6次中期経営計画を発表しました。将来に向けての成長エンジンの創出に取り組むことを目標に掲げ、「表示」のみならず、「撮影」、「記録」、「配信」の技術を包括した「Imaging Chain Innovation」により、従来のビジネスの更なる拡大と、新たな市場の創出を目指しています。

これまで当社は、創業以来培った映像表示技術を核に、世界トップレベルの高性能かつ高信頼性を有する映像環境ソリューションを、さまざまなプロフェッショナル市場に提供してまいりました。さらに2018年3月にはカーリーナシステム株式会社をグループに加えたことにより当社の技術開発・製品開発の幅は格段に拡がり、映像の「撮影」から「表示」までを包括したさまざまなソリューションを提供することが可能になりました。これはつまり、当社がこれまで以上に社会の課題解決に広く、より深く関わっていけることでもあると考えています。

豊かな未来社会のために

最近はさまざまな場面において、SDGs(持続可能な開発目標)への関心がますます高まってきていることを痛感しますが、企業とは、事業活動を通じて社会に貢献するために存在しているとの信念の下、必ずSDGsの達成に寄与できると考えます。

当社は企業理念に、私たちの生活のあらゆるところにある「映像を通じて」、「豊かな未来社会を実現します」と掲げています。医療や教育、公共交通や各種産業など多岐にわたる分野において、当社製品・サービスをお使いいただくことで、業務の効率や質の向上をお手伝いするとともに、その先にあるさまざまな社会課題の解決に寄与していると自負しております。